

今回のまちづくり瓦版は、新しい地域づくり施策を紹介します。合わせて、県内のまちづくり情報もお伝えします。

新規事業「まちづくり支援事業」について

平成26年度2月補正予算において、地方創生の交付金を活用して「まちづくり支援事業」を新設しました。

現在補助要綱作成中ですので、詳細が決まりましたらお知らせします。





土木部 2月補正予算

地域住民及び市町村が主体となったまちづくりを支援します

事業の概要

- 地域住民及び市町村が主体となって地域の宝（資源）を磨き上げ、活用していくための各種計画の策定を支援します。
- 地域主体のまちづくりを促進するため、計画に基づき実施する観光施設や商店街等を結ぶ路地整備や、花や緑による修景整備等を支援します。

◇まちづくり支援事業

(1) 計画策定	(2) 施設等整備
<p>市町村が策定する「歴史的風致維持向上計画」及び「景観計画」の策定を支援します。 また、県は地域住民や市町村とともに「地域づくり計画」策定を行います。</p> <div style="text-align: center;">  <p>ワークショップの様子</p> </div>	<p>地域づくり計画に基づき、県と市町村、住民が連携してポケットパークや路地の整備、花や緑での修景整備を行い、面的な魅力向上を図ります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>路地整備 (市町村)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ポケットパーク整備 (県、市町村)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>花・緑の整備 (住民)</p> </div> </div>

	補助対象事業	補助対象者	補助率	上限額
計画策定	①歴史的風致維持向上計画策定	市町村	2/3 以内	200 万円
	②景観計画策定	市町村	2/3 以内	200 万円
施設等整備	③休憩施設（ポケットパーク、ベンチ等）整備	市町村	2/3 以内	1 地区あたり 300 万円
	④裏道（路地）整備	市町村	2/3 以内	下記のとおり
	⑤修景整備（プランター等の資材費用）	町内会、NPO、 商工会等	8/10 以内	下記のとおり
				③,④,⑤の合計が 1 市町村 1,000 万円以内を原則

きたかた地域づくり懇談会を開催しました！

(喜多方建設 企画調査課)

平成27年2月24日、喜多方市において「きたかた地域づくり懇談会」を開催しました。この懇談会は喜多方管内で地域づくりに取り組んでいる団体が、それぞれの活動や地域の情報を交換し、活動促進や団体間のさらなる交流のきっかけの場となることを目的に開催したもので、14団体16名にお集まりいただきました。

また、懇談会に先立ち喜多方建設事務所より「子ども未来創造まちづくり事業」の今年度の取組について紹介しました。

■懇談会

グループに別れ、取組の紹介と意見交換を行いました。

【各団体の取組】

- ・蔵の保存と利活用の推進。空き蔵、レトロな木造建築物の再生と活用
- ・会津の自然環境を土台にした歴史勉強会
- ・景観協定の運営
- ・イベントによる地域文化の発信



- 喜多方地方特有の地域資源の利活用
- 文化・地域情報の発信

【悩んでいること・課題】

- ・団体(組織)を維持していくための事業資金の確保
- ・人材確保と人材育成(後継者)
- ・担当者(行政)の異動や事業完了に伴うつながりの薄れ
- ・事業を進める上での助成・補助制度情報の取得
- ・実働する人が限られてきた。会費会員が多い



- 人材、後継者、財源の確保
- 補助制度情報や事業ノウハウの取得

◎喜多方地方の豊かな自然、歴史などの地域資源を活かした取り組みが、各団体ともに活発である一方で、共通の課題もありました。今後も交流の機会を設け、活動を支援します。



子ども未来創造まちづくり
事業の取組紹介



活発に意見が交わされました



各グループの意見を共有
しました

平成26年度歴史的風致維持向上推進等調査報告会について

「平成26年度歴史的風致維持向上推進等調査報告会」が平成27年2月6日、東京都港区三田供用会議所で開催されました。

これは、国土交通省が、歴史的風致や景観を形成する町家等の建造物を保全・活用するため、その隘路となっている資金や人材の確保、修理工法等の技術的知見の確立といった共通課題について、課題を抱える地域を対象として実証等により解決策を導き出す取組の提案を募集し、優れた取組提案を選定して提案者へ調査を委託するものです。

平成26年度は、全国10地域で取組が実施され、この調査成果の報告会を【民間資金の導入による町家等の歴史的建造物の修理・活用等の促進】、【広域的な歴史まちづくりの専門家組織の育成】、【伝統工法と現代工法の組合せによる歴史的建造物保全システムの構築】の3部門のテーマに分けて開催されました。

【民間資金の導入による町家等の歴史的建造物の修理・活用等の促進】については、

- ・「民間資金を活用した大型町家をはじめとした歴史的建造物と一体的に形成される町並みの保存・活用手法の検討」
- ・「潜在的空き家の実態調査による空き家化予防措置の検討及び地域組織と連携した伝統的建築物の利活用方策試行によるスキーム構築」など4調査が、

【広域的な歴史まちづくりの専門家組織の育成】については、

- ・「実用的技術の教育訓練となる建築技術職人育成研修の実施方策及び持続的な運営方策の検討」など2調査が、

【伝統工法と現代工法の組合せによる歴史的建造物保全システムの構築】については

- ・「景観維持・保全のための木造建築物の温熱環境の改善及び耐震性の向上等による利活用促進の検討」
- ・「伝統的歩行者空間（こみせ）維持のための利用方策の実践及びその波及効果検証」

など4調査が報告されました。

身近な問題の調査報告であったため、一般参加者も真剣に聴講しておりました。

また、調査報告に対し評価委員からの講評があり、専門家の貴重な意見を拝聴することができました。歴史的風致維持向上推進等調査につきましては、国土交通省ホームページに掲載されておりますのでご覧下さい。

国土交通省ホームページ

http://www.mlit.go.jp/toshi/rekimachi/toshi_history_mn_000003.html

土木部メールマガジン登録随時受付中!!!

福島県土木部では、土木部メールマガジンとして、定期的に土木部の取り組みや情報を発信しております。まちづくり瓦版、地域のイベント情報も合わせて発信しております。

土木部メールマガジン（無料）の登録をご希望される方



- 1 土木部メルマガ希望または解除
- 2 お住まいの市町村

1, 2を記入の上、
doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp
まで希望する旨ご連絡下さい。

【発行元】 福島県土木部まちづくり推進課
〒960-8670（住所記載不要です）
TEL 024-521-7511
FAX 024-521-7956
e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp
URL <http://www.pref.fukushima.jp/sec/41055b/>